

麻疹（はしか）に関する注意喚起

現在、近畿地方で麻疹（はしか）が流行しています。2019/1/28～2/3(第5週)の速報データによると患者数が多い都道府県として、三重県(49)大阪府(43)和歌山県(5)があげられています。

今後、大学でも流行する可能性があります。麻疹（はしか）の病気に対する理解を深め、各自注意するようにしてください。

【麻疹とはどんな病気？】

麻疹ウイルスによる急性熱性発疹性の感染症です。とても感染力が強く、手洗いやマスクでは防げません。免疫のない人はほとんどが発症し、治療薬はありません。

【症状】

10～12日の潜伏期ののち、発熱で発症

発熱期（一番感染力の強い時期）は咳、鼻水、結膜炎症状が強く、38℃以上の発熱が数日続く



一度解熱する



耳の後ろ辺りから発疹が現れるとともに39度以上の発熱が数日続く
発疹出現前後、口の中の粘膜に白い粘膜疹（コプリック斑）が現れる



発疹はその後、顔面、体幹、手足に広がって全身の発疹となり、数日後、色素沈着を残して回復に向かう



※肺炎、中耳炎を合併することが多く、1000人に0・5～1人の割合で脳炎を合併する。

【感染経路】

麻疹は空気感染によって広がり、その感染力は強く、1人の発症者から12～14人に感染させると言われています。麻疹発症者が周囲の人に感染させることが可能な期間(感染可能期間)は、発熱等の症状が出現する1日前から発疹出現後4～5日目くらいまでです。

【予防方法】

今回、大阪で発生している麻疹患者の半数以上が、予防接種未接種と聞いています。麻疹の予防には、予防接種を受けることが一番有効です。

【その他】

- ・大勢の人が集まるイベントに参加する場合など、十分に注意してください。
- ・疑わしい症状のある場合は、早急に医療機関にご相談ください。
- ・麻疹は学校保健安全法第2種感染症であり、学生は出席停止（解熱した後3日を経過するまで）となります。